

## 特別支援学校(知的障害)と小学校との「交流及び共同学習」

### <実践の概要>

学 年	特別支援学校	小学校
		小学部2年
交流学習の時間	9時20分～11時30分	
教科・領域等	特別活動(2・3校時ともに)	音楽(2校時)、生活科(3校時)
実施時期	9月中旬	
単元/題材名「リズム遊びをしよう」(2校時)、「うごくうごくわたしのおもちゃ」(3校時)		
主 な 活 動 内 容		
<p>&lt;2校時&gt; 音楽(学級での活動に参加) 9時30分～10時15分</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 始まりのあいさつ</li> <li>2. 自己紹介</li> <li>3. 小学校と特別支援学校の校歌紹介               <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校:校歌斉唱</li> <li>・特別支援学校:校歌音源</li> </ul> </li> <li>4. 鍵盤ハーモニカ「ドレミのトンネル」</li> <li>5. 歌唱「にじのくれよん」「虫のこえ」               <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の演奏を聴かせてもらう。</li> </ul> </li> <li>6. リズム遊び               <ul style="list-style-type: none"> <li>・打楽器を用いてのリズム遊びを行う。</li> <li>・4～5人のグループの中に、まぜてもらい、一緒に活動する。</li> </ul> </li> <li>7. 片付け</li> <li>8. 感想発表</li> <li>9. 終わりのあいさつ</li> </ol>	<p>&lt;3校時&gt; 生活科(学年での活動に参加) 10時35分～11時20分</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 始まりのあいさつ</li> <li>2. 自己紹介</li> <li>3. 活動場所の確認・諸注意</li> <li>4. おもちゃで遊ぶ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が各クラスで作ってきたおもちゃで、みんなで遊ぶ。(おもちゃごとに、コーナーを用意する。)</li> <li>・遊び方を教える側と、おもちゃで遊ぶ側に分かれる。途中で役割を交替する。</li> <li>・特別支援学校児童は、遊ぶ側で参加する。</li> </ul> </li> <li>5. 感想発表</li> <li>6. 終わりのあいさつ</li> </ol> <p>～ 小学校児童に見送られて、活動を終える。～</p>	

### <実践の成果と課題>

- 初めての居住地校学習だったが、送ってきた保護者からもスムーズに離れ、学級に入ることができた。
- グループで見るプリントを一人で見ようとした特別支援学校の児童に対し、「一人で見たいんだね」と理解を示してくれた小学校児童がいた。
- 就学前に在籍していた保育所で一緒に生活していた児童が小学校に数名おり、「覚えてるよ!」「一緒だったよね」と声を掛けてくれる場面があった。
- 2・3校時続けての実践だったが、終わり頃に教室を出たがるようになった。その理由を検証して、来年度の活動につなげたい。

### <これまでの効果的な取組や実践エピソード等>

- 打合せを大きく2回に分けて実施した。
  - 1回目…小学校へ特別支援学校教員が出向き、担当者とは直接顔を合わせ、児童の実態を共有しながら活動の大枠を決める。また、小学校の校舎や教室の写真を撮影し、児童の事前指導に活かす。
  - 2回目…小学校から活動内容の詳細(略案)を送ってもらい、特別支援学校で準備するものを確認した。必要に応じて小学校と電話にて詳細の確認を行った。
- グループ活動の際に、特別支援学校児童と一緒に活動するグループの児童構成が配慮されていた。(気配りができる児童等)